

小笠原群島のシロワニ (*Carcharias taurus*) の生息数推定調査

Survey to estimate the population of Sand tiger shark (*Carcharias taurus*) in the Ogasawara Islands

中村雅之¹、[○]鈴木鴻之¹、宮下和士²、朱妍卉²、永原明花音³、井川桜³

(¹マリソールワールド海の中道、²北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、³北海道大学大学院環境科学院)

Masayuki Nakamura¹, [○]Hiroyuki Suzuki¹, Kazushi Miyashita², Yanhui Zhu², Akane Nagahara³,
Sakura Igawa³

(¹MARINE WORLD uminonakamichi, ²Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University, ³Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University)

【背景・目的】シロワニ (*Carcharias taurus*) は世界中の温暖な沿岸域に広く分布するサメ類であるが、繁殖力が低いため個体数減少の影響を受けやすく、IUCN レッドリストにおいて絶滅危惧種に指定されている。海外では衛星・音響テレメトリーによる行動解析や体側斑紋を利用した個体識別調査が進められており、特にオーストラリア東部沿岸域では個体識別データを活用した生息数推定が行われている。一方、日本における知見は限られており、小笠原群島周辺に生息する本種はダイビング資源として観光的価値が高いものの、回遊生態や個体数規模についての基礎的情報はこれまで得られていなかった。そこで本研究では、本種の現状を把握し、父島列島周辺海域における生息個体数を求め、保護・管理策検討に必要な知見を提供することを目的とした。

【材料・方法】2018年、水族館で構成された「シロワニ繁殖協議会」により個体識別調査が開始された。2025年1月に、左体側99個体の識別済み画像データを基に標識再捕獲法による初の生息数推定潜水調査を実施し、Petersen-Bailey法およびPetersen-Chapman法により個体数を推定した。

【結果・考察】2018年から開始された個体識別調査により、2025年7月までの調査期間で、延べ619日のシロワニ撮影画像が報告され、個体識別の結果、総撮影個体数は288個体(オス/メス/不明=129/158/1)であった。撮影画像は左体側120個体(M:F:U=60:59:1)、右体側119個体(M:F:U=62:56:1)となり、両体側で87個体(M:F:U=39:48:0)が識別登録された。個体識別により母島列島と父島列島間で9個体、賀島列島と父島列島間で3個体の移動が記録された。潜水調査による推定個体数は、Bailey法で116±21個体、Chapman法で117±21個体となった。